

女流作家が描く、戦国武将の波瀾で華麗な生き様

甲斐の猛将

山縣昌景



定価(本体 1300円+税)
四六判・並製本・195頁
ISBN 978-4-89623-143-3

歴史小説

甲斐の名将・武田信玄に忠義を尽くし、武田二十四将の一人として華々しく設楽が原の戦場で散った赤備えの将・山縣昌景——
そして武田に仕えた二人の女忍び

まだ幼さを顔に残す飯富源四郎は、叔父飯富虎昌を頼りに遙か西国の萩から甲斐の国へとやってきた。

戦国大名として名を馳せ始める武田晴信(のちの信玄)にその才を認められた源四郎は、戦乱明け暮れる時代でも実直な武将として成長していく……
そしてある日、晴信に駿河国へと追放された先代・武田信虎に仕える志村家の女忍びが使者として飯富虎昌を訪れる。

この二人が武田家にもたらすものとは？



織田信長・徳川家康をも
震撼させた華麗な猛将
山縣昌景!

本書目次

- 一、序・信虎時代の武田家
 - 二、萩からの一行
 - 三、真田幸隆
 - 四、源四郎の婚儀
 - 五、駿河からの客
 - 六、義信の反逆
 - 七、躑躅が崎の月
 - 八、上洛進軍
 - 九、帰国
 - 十、設楽が原の戦い
- 武田余話壺 真理姫
武田余話弐 秋山信友

昌景の生涯を少年期から追っていき、武田家に仕えた波瀾な日々、そして巨大な敵・織田家との戦い「設楽が原」の戦場にて華麗に散るまでを描く。また著者自身が訪れた昌景ゆかりの地の紀行エッセイも各所に掲載。他にも滅びゆく武田家の人々を描く外伝余話を2話掲載している。

武田かず子
Takeda Kazuko

1950年東京都生まれ
現埼玉県嵐山町在住。
和洋女子短期大学卒業
書道二元会準同人
書道清友会副会長
書道清嵐会塾長
武田信玄研究者
企販小説
「信玄最後の側室」(文芸社)
2009年
「花影の女」(文芸社)
2012年

申込書

甲斐の猛将

山縣昌景

武田かず子著

(本体1300円+税)

ISBN 978-4-89623-143-3

注文数

冊

お名前

電話番号

書店名

まつやま書房 ☎ 0493-22-4162
Fax 0493-22-4460
〒355-0017 東松山市松葉町3-2-5

問い合わせ先 **まつやま書房**

〒355-0017 東松山市松葉町3-2-5
Tel.0493-22-4162 Fax.0493-22-4460

<http://www.matsuyama-syobou.com/>